



ファームウェアバージョン:	R2.40.046	
ハードウェアバージョン:	DXS-3600-16S DXS-3600-32S	B1
発行日:	2015/11/24	

本リリースノートには、D-Link 製スイッチのファームウェア更新に関する重要な情報が含まれています。ご使用のスイッチに対応するリリースノートであることを確認してください。

- 新しいスイッチにインストールを行う際には、デバイス上のハードウェアバージョンの表示を確認し、ご使用のスイッチがファームウェアのシステム要件を満たしていることを確認してください。ファームウェアとハードウェアの互換性についての詳細情報は、“変更履歴とシステム要件”の項を参照してください。
- 新しくリリースされたファームウェアへのアップグレードを行う場合は、“アップグレード手順”の項を参照しながら正しい手順でファームウェアのアップグレードを行ってください。

スイッチ本体に関する詳細な情報が必要な場合は“コマンドラインインタフェース(CLI)マニュアル”を参照してください。

目次:

変更履歴とシステム要件:	2
サポートするモジュール:	2
ファームウェアアップグレード手順:	2
CLI を使用したアップグレード手順:	2
追加機能:	6
MIB 及び D-View Module の変更点:	6
CLI の変更点:	7
修正した問題点:	7
既知の問題:	8

変更履歴とシステム要件：

ファームウェアバージョン	リリース日付	モデル	ハードウェアバージョン
R2.40.046	2015/11/24	DXS-3600-16S DXS-3600-32S	B1

サポートするモジュール：

ファームウェアバージョン	モジュール
R2.40.046	<ul style="list-style-type: none"> ● DXS-3600-EM-4XT : 10G BASE-T × 4 ポートモジュール ● DXS-3600-EM-8T : 10/100/1000MBase-T × 8 ポートモジュール ● DXS-3600-EM-4QXS : 40Gbps QSFP+ × 4 スロットモジュール ● DXS-3600-EM-8XS : 10G SFP+ × 8 スロットモジュール ● DXS-3600-EM-Stack : 120G CXP × 2 物理スタックモジュール ● DXS-3600-PWR-FB : 300W AC パワーサプライトレイ (前面から背面へのエアフロー) ● DXS-3600-FAN-FB : ファントレイ (前面から背面へのエアフロー) ● DXS-3600-PWR-BF : 300W AC パワーサプライトレイ (背面から前面へのエアフロー) ● DXS-3600-FAN-BF : ファントレイ (背面から前面へのエアフロー) ● DXS-3600-PWRDC-FB : 300W DC パワーサプライトレイ (前面から背面へのエアフロー)

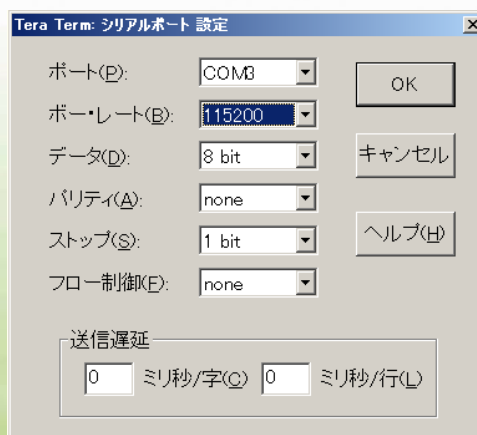
ファームウェアアップグレード手順：**注意：**

- R2.40.46 にアップグレードする前に、ソフトウェアのバージョンを同梱の R2.31B059 にアップグレードする必要があります。WebGUI では、ダウンロードしたファイルをブートアップに指定することができないため、CLI でのアップグレードを推奨します。
- 本ファームウェアには EI および SI の機能が含まれています。アップグレードを行うと、システムが自動的に判別を行い、関連する機能のみを有効にします。
- R1.10.023 以降のファームウェアはハードウェア:B1 でのみ動作します。

CLI を使用したアップグレード手順：

1. スイッチの電源を切り、RS-232 シリアルポート (コンソールポート) で PC と接続し、ターミナルソフトウェアを起動します。ターミナルソフトウェアの設定は下記の通りです。(本手順書ではターミナルソフトウェアは Tera Term を使用しています。)

- ボーレート：115200
- データビット：8
- パリティ：none
- ストップビット：1
- フロー制御：none



2. VT-100 のエミュレーションが可能な端末エミュレーションプログラムが起動していて、かつシリアルポートに上記設定を施した PC と、本スイッチのシリアルポートを RS-232 DB-9 ケーブルで接続します。
3. 接続が正常に行われると、ユーザ名とパスワードの入力を求められますが、管理者のユーザ名及びパスワードは、初期状態では登録されていないので「enter」キーを 2 回押し、ログインします。
4. ログイン後は下記のコマンドを使用し、ファームウェアのアップデートを行います。

コマンド	説明
copy tftp:¥¥ IP-ADDRESS ¥ [DIRECTORY ¥] FILENAME DESTINATION-URL	スイッチにファームウェアをダウンロードします。
configure terminal	グローバルコンフィグモードに入ります。
boot image	次回の起動時にイメージファイルとして使用されるファイルを指定します。
show boot	現在のブートイメージと設定ファイル名を表示します。
exit	現在のコンフィグモードを終了し、最後に使用したモードに戻ります。
reboot	スイッチをリブートします。

次ページの例を参考にファームウェアのアップデートを行ってください。

例:

1. R2.31B059にアップグレード

例 :

```
DXS-3600-16S#copy tftp: //192.168.0.27/DXS3600_Run_2_31_B059.had flash:
DXS3600_Run_2_31_B059.had
```

Address of remote host [192.168.0.27]?

Source filename [DXS3600_Run_2_31_B059.had]?

Destination filename [DXS3600_Run_2_31_B059.had]?

Accessing tftp://192.168.0.27/DXS3600_Run_2_31_B059.had...

Transmission start...

Transmission finished, file length 9927736 bytes.

Please wait, programming flash..... Done.

```
DXS-3600-16S#
```

```
DXS-3600-16S#configure terminal
```

```
DXS-3600-16S(config)#boot image DXS3600_Run_2_31_B059.had
```

```
DXS-3600-16S(config)#end
```

DXS-3600-16S#**show boot**

Unit 1

Boot image: /c:/DXS3600_Run_2_31_B059.had

Boot config: /c:/config.cfg

DXS-3600-16S#**reboot**

Are you sure you want to proceed with the system reboot?(y/n) **y**

Please wait, the switch is rebooting...

DXS-3600-16S>**en**

DXS-3600-16S#**show version**

System MAC Address: AC-F1-DF-19-B6-38

Unit ID	Module Name	Versions
1	DXS-3600-16S	H/W:B1 Bootloader:1.10.007 Runtime:2.40.046

DXS-3600-16S#

2. R2.40.046にアップグレード

例:

DXS-3600-16S#**copy tftp: //192.168.0.27/DXS3600_Run_2_40_046.had flash:**
DXS3600_Run_2_40_046.had

Address of remote host [192.168.0.27]?

Source filename [DXS3600_Run_2_40_046.had]?

Destination filename [DXS3600_Run_2_40_046.had]?

Accessing tftp://192.168.0.27/DXS3600_Run_2_40_046.had...

Transmission start...

Transmission finished, file length 12451244 bytes.

Please wait, programming flash..... Done.

DXS-3600-16S#

DXS-3600-16S#**configure terminal**

DXS-3600-16S(config)#**boot image DXS3600_Run_2_40_046.had**

DXS-3600-16S(config)#**end**

DXS-3600-16S#**show boot**

Unit 1

Boot image: /c:/DXS3600_Run_2_40_046.had

Boot config: /c:/config.cfg

DXS-3600-16S#**reboot**

Are you sure you want to proceed with the system reboot?(y/n) y

Please wait, the switch is rebooting...

DXS-3600-16S>**en**

DXS-3600-16S#**show version**

System MAC Address: AC-F1-DF-19-B6-38

Unit ID	Module Name	Versions
1	DXS-3600-16S	H/W:B1 Bootloader:1.10.007 Runtime:2.40.046

DXS-3600-16S#

注意：

スイッチのアップグレード中及び再起動中に、電源を切らないでください。電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。

追加機能：

ファームウェアバージョン	追加機能
R2.40.046	<p>1. 以下の機能は CLI でのみサポートされます。</p> <ul style="list-style-type: none"> -IPv4、IPv6 用 IS-IS ルーティングプロトコル -IPv4 PIM スヌーピング -マルチキャストソースディスカバリプロトコル (MSDP) -PIM6-SSM -IPv4 の VLAN ベースごとの IP マルチキャスト Boundary -G8032v2 (ERPSv2) -VLAN カウンタ -IPv6 ステートレスアドレスオートコンフィギュレーション(SLAAC) -BFD (Bidirectional Forwarding Detection) -MPLS での Selective Q-in-Q -MPLS PHP は LER/LSR として動作する際の implicit-null をサポート -管理ポートでの TACACS+、RADIUS サーバとの AAA - RADIUS アトリビュート 4、NAS-IP-Address アトリビュートをサポート -スケジューリングのリポート -Telnet/ SSH セッションクリア -IP DHCP のリレー先に Virtual Routing and Forwarding (VRF)を指定可能 <p>2. 以下の仕様は変更されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> - LACP グループ数を 32 グループに拡張 - DHCP リレーグループ数を 30 グループに拡張

MIB 及びD-View Module の変更点：

MIBの新機能は、対応するD-View Moduleにも実装されます。

ファームウェアバージョン	MIB	変更点
R2.40.046	DLINKSW-DHCP6- SERVER-MIB	以下のオブジェクトタイプについて、SYNTAX [DisplayString] を修正 - dDhcp6SPoolAddrAssignClientDuid - dDhcp6SPoolPdClientDuid
	DLINKSW-ROUTE-MAP- MIB	以下の新しいオブジェクトを追加 - setIpv6RecursiveNextHop - setIpv6Precedence
	DLINKSW-OSPFV2-MIB	新しい“isis(5)” 値を追加 - dOspfv2RedistProtocol
	DLINKSW-OSPFV3-MIB	新しい“isis(5)” 値を追加 -dOspfv3RedistProtocol
	DLINKSW-BGP-MIB-MIB	新しい“isis(11)” 値を追加 - dBgpRedistProtocol
	DLINKSW-IP-ROUTING-MIB	新しい“isis(8)”、“isis(9)”値を追加

	DLINKSW-RIP-MIB	-dIpRoutingRouteSummarySrcType 新しい"isis(5)" 値を追加
	DLINKSW-RIPNG-MIB	- dRipRedistProtocol 新しい"isis(5)" 値を追加
	DLINKSW-QOS-MIB	-dRipngRedistProtocol dQoSschedulingModeTable に ETS、新しい QoS スケジューリングモードを追加

CLI の変更点：

注意：ファームウェアを R1.10 から R2.00 にアップグレードする際に、コンフィグレーションファイルがフラッシュに保存されている場合、スイッチは自動的に CLI コマンドを新しいフォーマットに変換します。

ファームウェアバージョン	問題点
R2.40.046	特になし

修正した問題点：

ファームウェアバージョン	修正した問題点
R2.40.046	<ol style="list-style-type: none"> 10.x.x.x/8 で IP インタフェースを設定した場合、ファームアップグレード後に IP インタフェースが失われる互換性の問題を修正致しました。 ローカル認証が有効な場合においても、認証なしでコンソール経由でスイッチにアクセスできる問題を修正致しました。 DHCP サービスが有効な場合、DXS-3600 が DHCP Renew ユニキャストパケットをフィルタする問題を修正致しました。 同時に"duplex"パラメータを設定しなかった場合、ポートのスピード設定が保存できない問題を修正致しました。 Path MTU タイムアウトタイマ設定に対するコードエラーにより、Exception モードになる問題を修正致しました。 HTTP と HTTPS を同時に無効にできない問題を修正致しました。 DXS-3600 に拡張モジュール DXS-3600-4XT を接続した際、拡張モジュールのポートがオートネゴシエーションモードでリンクアップしない問題を修正致しました。 RX oversize statistics 数が正しくない問題を修正致しました。 Q-in-Q で IGMP スヌーピングを有効にした場合、DXS-3600 は 64 バイトよりも小さいパケットサイズの IGMP パケットをドロップする問題を修正致しました。 スイッチで Traceroute を実行した際、多くのノードから応答がない問題を修正致しました。 クライアントが TACACS+サーバで認証された後、LSP セッションがフラッピングする問題を修正致しました。 "class-map"設定が正しく動作しない問題を修正致しました。 スイッチのポートがリンクアップ、ダウンした際、L3 VPN サービスがデータを転送

	<p>するのに失敗する問題を修正致しました。</p> <p>14. "transceiver-monitoring enable"コマンドで光トランシーバモニタリング機能を有効にしようとした場合、DXS-3600 がエラーメッセージを返す問題を修正致しました。</p> <p>15. Juniper スイッチに対し MPLS ping を実行した際、Ping が失敗する問題を修正致しました。</p> <p>16. ミラーリングを LACP で有効にした場合、チャンネルグループロードバランシングアルゴリズムが動作しない問題を修正致しました。</p> <p>17. ファームウェアアップグレード後に、ミラー設定が消失する問題を修正致しました。</p> <p>18. IP アドレスを削除しようとした際、エラーメッセージを表示する問題を修正致しました。</p> <p>19. LSP パケットを制御する際、スイッチは Pause モードに変更される可能性がある問題を修正致しました。</p> <p>20. " show environment "コマンドを実行すると、" Detail Power Status "で "Power 1" " Power 2"の代わりに"Internal Power" "External Power"と表示される問題を修正致しました。</p> <p>21. IPv6 の Duplication Log を記録するように変更致しました。</p>
--	--

既知の問題：

ファームウェアバージョン	問題点
R2.40.046	<p>1. いくつかの CLI コマンドのフォーマットが R1.10 と R2.00 の間で異なっており、ユーザが R1.10 のコマンドを R2.00 で実行できない問題</p> <p>【対処法】</p> <p>ファームウェアアップグレードを行う前にコンフィグレーションファイルを保存してください。</p> <p>2. CVE-2013-0149 RFC2328 で定義されている OSPF プロトコルの不明瞭な定義により、攻撃者が偽 LSA を送信できる問題。</p> <p>【対処法】</p> <p>①OSPF の MD5 認証を有効にしてください。</p> <p>②OSPF Passive Interface を有効にし、OSPF に関係していないインターフェース上でのルーティングテーブルアップデートの送受信を停止してください。</p> <p>③MAC (MAC-based Access Control)を有効にし、デバイスがネットワークと通信を行う前にデバイス認証を行ってください。</p> <p>3. DAD により、自身の NS を受信した場合、該当の IPV6 アドレスが Up しない問題</p> <p>4. DHCP スヌーピングにおいて、対象外の VLAN で Drop (Block の表示はない) される問題</p> <p>5. 10G リンクアップ時、ifSpeed に 1,410,065,408 (1G&0xffffffff) を返す問題</p> <p>6. Rate-limit input/output において、"Bandwidth burst size"に 4 未満の値を設定した場合は、rate-limit が掛からない問題</p> <p>7. MSTP 使用時、Port に含まれない MSTI を BPDU に含める問題</p>

- | | |
|--|--|
| | <ul style="list-style-type: none">8. "switchport protected unidirectional"コマンドによって、unKnown unicast pkt はフィルタされない問題9. DHCP リレーが有効な場合、Discover パケットが対象 VLAN 内にフラッディングされない問題10. Monitor 機能において、Source Port が STP、ERPSなどで Block のために、実際には送信していない場合でも、Destination Port に Monitor する問題 |
|--|--|

Copyright 2006-2015 D-link Japan K.K.